

議題（1）令和7年度実施（令和6年度採択）の企画提案型協働事業について（報告）

No	頁数	質問・意見	回答
1	資料1-2 提案1	鈴木まもる氏の講演会が、十分に準備を行って、大反響・大盛況であり、その後の図書館利用者も増えたとのことで、大変インパクトのあるイベントを実現し、良い成果を得た。	
2	資料1-2 提案1 P1 資料1-3 提案1 P9	講演会の実際の参加者数は？申し込み100名、96名、市の評価 75名、アンケート88名と様々な数値があるので、確認して下さい。	100名は会場の収容可能人数であり、当日の会場利用者数は事務局等を含め96名で、うち一般参加者は75名となります。
3	資料1-2 提案1 P2	Q3で「事業後は報告書を受領した」とありますが、誰がどこから報告書を受領したのでしょうか？	図書館が企画提案事業者（印西子どもの文化連絡会）から受領しました。
4	資料1-2 提案1 P2	集客は成功されました。お疲れ様でした。2026年を応募されなかったのは残念。 1. Q4での「事業費の立替については、今後のために対応できるようにしてほしい 2. 講演会が図書館利用の増加につながる根拠がないと思われるので、協働事業の目的を修正されたらいかがですか。例えば、図書館利用に絞れば「図書館で講演に参加しよう」「読書会を開催」など。単に図書館利用でも良いと考えますが、いかがでしょうか。	1. つきましては、当市の契約制度上、企画提案事業者の立替払いとなる部分を前金払いをすることができません。 2. つきましては、新規事業の実施により、今まで来館しなかった層の図書館来館の機会を生むことが、図書館利用の増加につながるものと認識しておりますが、今後の協働事業に際しての参考とさせていただきます。
5	資料1-3 提案1 P9	アンケート 回収率33%（29/88名）は、やや少ない。回収率を上げる工夫の検討をお願いします。	家族での参加が多く、今回は1家族につき1枚のアンケートを依頼しました。ご意見のとおりアンケートの実施方法については今後検討したいと考えます。

議題（１）令和７年度実施（令和６年度採択）の企画提案型協働事業について（報告）

No	頁数	質問・意見	回答
6	資料1-2 提案2	事業提案者と保育幼稚園課が協力して進められており、大変良いと思います。	
7	資料1-2 提案2 P5	「“遊びの延長”のような」ご苦労様です。Q4の個人差での工夫が必要とありますが、具体的方法として、“得意な子供と苦手な子供”各々について、どのように工夫されているか、具体的に教えてください。	<p>運動が得意な園児に対しては、難易度を少し高めた動きや役割（お手本を見せる、友達を応援するなど）を提示し、意欲や達成感を高める工夫をしている。一方で、苦手意識のある園児に対しては、無理に同じ動きを求めず、個別にサポートに入りながら「できた部分」「やってみようとした姿勢」を積極的に言葉で認めている。</p> <p>また、結果として「できたかどうか」より、「やってみること」「チャレンジすること」を大切にしていることを、繰り返し言葉がけで伝えている。動きを小さく区切ったり、選択肢を用意したりすることで、成功体験につながりやすい環境づくりを行っている。</p> <p>これらの工夫により、運動が得意な園児も苦手な園児も、それぞれのペースで安心して活動に参加できるよう配慮している。</p>
8	資料1-2 提案3	事業者とこども家庭課とで、協力して事業を実施しており、大変良いと思います。	
9	資料1-2 提案3	お疲れ様です。集客で、一番効果があったのは、何ですか。	アンケートの結果、講座を知ったきっかけで一番多かったのは「印西市LINE」次いで「チラシ・ポスター」となっております。
10	資料1-2 提案4	事業者（旧？）と環境保全課との説明内容がかみ合っておらず、あまりうまくいっていない様である。地域猫の去勢費用の予算設定について、開始時に想定がつかなかったことも原因と思われるが、協働事業として一定の活動ができるように、評価時に「適切な目標設定や予算枠の確保が必要となる」ことを再認識し、今後の評価に生かしたい。	

議題（１）令和７年度実施（令和６年度採択）の企画提案型協働事業について（報告）

No	頁数	質問・意見	回答
11	資料1-2 提案4	令和7年度は本事業の運営に多くの問題があり改善できていない。どこに根本的な問題があったのか。事業実施者としての印西・地域猫友の会としては今後どのような運営をしていくのか。 また、市の実施担当課として、本事業がこのような事態に陥っていたことを把握していたのか。	TNR（捕獲、手術、リリース）の能力が高い一部のグループが補助している不妊去勢手術助成金の申請団体が、助成金の大部分を交付される結果となり、協働事業による手術ができない状態に陥った。助成金を受けて手術をすることが協働事業の条件になっていた負担が大きいと思われる。 TNRを推進するグループが、当初の運営委員である協働事業を推進するグループを厳しく非難したことにより当初の運営委員が辞めてしまった。それに代わって運営委員となったTNR推進グループも現在分裂して辞めた人もいるため、地域猫友の会としての運営は厳しいと思われる。Q1のような状況は12月下旬に報告があった。
12	資料1-2 提案4	環境保全課としては、次年度以降、地域猫対策を協働事業で実施する必要性は高くないという理解か？（他の事業者が存在するとして）	協働事業の開始当初は、不妊去勢手術助成金の活用が少なく、申請のサポートを期待していたが、現状では、助成金が足りない程の申請があるため、一定の役割は果たしていただいたと考える。 現運営委員はTNR活動に特化しており、新規に地域猫活動を始めたい方のサポートに課題があると考ええる。
13	資料1-2 提案4	全役員が辞任、運営がうまくいっていない理由を具体的に述べてください。例えば、「経理処理のまずさ」「運営方針がちがった」「もともとできない計画だった」など	現運営委員（TNR推進）が旧運営委員（協働事業推進）がTNR活動が行えないのに協働事業費を得ていると厳しく非難をしたため、旧運営委員が辞めてしまった。
14	資料1-2 提案4 P10・11	・P10事業実施月11月欄とP11のQ1 地域猫友の会側にTNRの「実施者、相談者、当会」の三者が記載されています。具体的な関係（役割分担）を教えてください。	相談者：地域猫に不妊去勢手術を希望している人。 実施者：TNRを補助する人 当会：印西・地域猫友の会 通常は相談者から友の会に相談が入り、実施者を派遣する。しかし、実施者が相談者から直接依頼を受け手術をしていると思われる。

議題（１）令和７年度実施（令和６年度採択）の企画提案型協働事業について（報告）

No	頁数	質問・意見	回答
15	資料1-2 提案4 P11	・ P11のQ1 役員の交代など友の会の内部事情とは言え、無責任だと感じます。環境保全課としてのお考えをお聞かせください。	現運営委員はTNRに特化しリリース後の世話に懸念があったが、地域猫活動として当然行うと申し出があり、協働事業を継続することとしたが、現運営委員内でも分裂してしまい、事業が実施できない状態になってしまった。 分裂を繰り返し、友の会運営の継続に不安もあり、市民から猫被害の話が合った際に、相談先として案内できるか疑問である。
16	資料1-2 提案4 P11	・ P11のQ3 「パートナー双方が進捗状況を確認したり、意見交換を行っていますか。」に対し、友の会と環境保全課の見解が相違しています。何故でしょうか？	旧運営委員との協議や運営委員交代時の協働事業の進め方等の説明時に意見交換をしていたと認識している。 また、地域猫友の会のQ3回答のパートナーは、実施者、相談者を指していると思われる。
17	資料1-2 提案5	事業者と都市整備課が協力して、良い活動を実現できていると思います。	
18	資料1-2 提案5	時間の経過が進むにつれ、参加者の高齢化問題は、共通の課題です。新規メンバー募集を進めて頂くと共に、やはり、現メンバーの作業負担を軽減する方策が有効と考えます。草刈り機の機械化はその流れに沿っていますが、使用上の危険性も増すので、ケガ・事故の防止方策を徹底してください。	

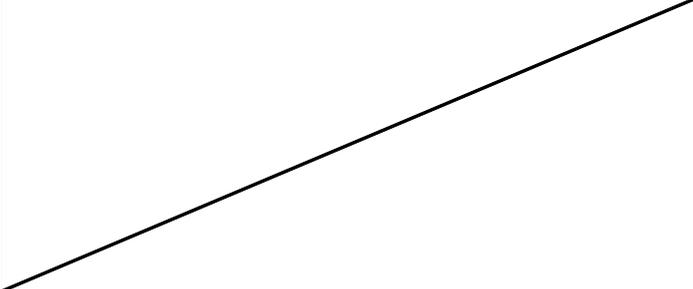
議題（１）令和７年度実施（令和６年度採択）の企画提案型協働事業について（報告）

No	頁数	質問・意見	回答
19	資料1-2 提案6	長年の環境美観活動の遂行に敬意を表します。	
20	資料1-2 提案8	熱心に活動されているようです。武西の里山が、環境省の環境共生サイト認定を獲得するなど、非常に質の良い成果の創出にもつながっていると思います。	
21	資料1-2 提案8	「グリーンインフラ」という用語は、行政や企業サイドでは重要性の認識が広がりつつありますが、一般の方々にはとっつきにくい分野です。一般の市民層への理解や認知にはまだまだ時間がかかるので、まずは、専門家から見て評価される成果や取組を重ねて、事例を積み上げてゆくと、印西市にとって有益な自然資本の蓄積につながるものと思います。	
22	資料1-2 提案8 P24	Q5で、「当協議会も重要な役割」とあります。Q6で「思いが強い」とあります。具体的にはどんなことでしょうか。	<p>【Q5.回答】市と市民団体、市内で活動する市民団体と市民団体同士を繋ぐ中間組織として、重要な役割を担っていると考えています。（環境保全課作成、団体にも確認済み）</p> <p>【Q6.回答】構成員となっている各団体は、長年印西市において熱心に環境保全活動を行われている方々で、熱意があり、思いが強い方々です。そのため、議論が活発になることが多く、合意形成に時間を要し、意見がまとまらないこともあります。（環境保全課作成）</p>

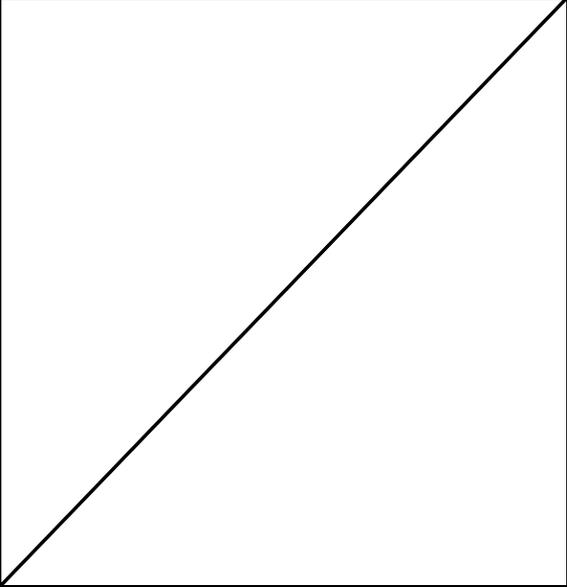
議題（１）令和７年度実施（令和６年度採択）の企画提案型協働事業について（報告）

No	頁数	質問・意見	回答
23	資料1-2 提案9	事業者と生涯学習課とが協力して、大きな反響のあるイベントが開催され、非常に良い成果が得られているものと思います。	
24	資料1-2 提案9 P27	Q4で、「広報方法の再検討が必要になった」とありますが、再検討の結果どのような広報方法になったのでしょうか？	こっトンカフェはコスモスパレットの3階で実施していますが、同施設の1階フリースペースを利用している小中学生のグループなど若年層に向けた周知が必要と考え、チラシ配布や案内板の設置等、1階での効果的な周知方法を施設管理者と協議しています。

議題（2）令和7年度企画提案型協働事業の審査について（振り返り）

No	頁数	質問・意見	回答
1	資料2-1	<p>令和7年度の方法で、アイデア審査免除を行うことで、事業者・印西市の両者にとって、事業検討準備の負担を減らすことができていると思います。</p>	
2	資料2-1	<p>審査としては、事務局の進め方が旨くてスムーズにいったと思います。</p> <p>応募がもう少し多くあると良いです。応募の阻害要因はないでしょうか。</p>	<p>協働事業は助成金ではないので、申請したら終了というわけではないです。市の関連部署と協議をして合意を得ながら、最終審査まで進む必要があります。そのためまちづくりファンド等の助成金と比べて申請のハードルは高いかもしれません。しかし採択された際は市の協力も得る事が出来るので、助成金とは違ったメリットが協働事業にはあると思います。</p>

議題（3）令和8年度の企画提案型協働事業の実施方針について

No	頁数	質問・意見	回答
1		申請を多くする工夫をしてほしい。	対象外となってしまった提案も含めると、今年度は過去最多に迫る11件のご相談がありました。来年度もコスモスパレットでの説明会の開催や実施要領の各施設への配布などを通して、周知に努めていきたいと考えています。
2	資料3-1	地域猫活動普及啓発事業の事業団体の大混乱は残念なことである。今後、このような事態を再発させないために、事業の採択審査段階でどのような審査項目を追加すればよいのか検討が必要である。	資料3-1参照。 アイデア審査の前に、関連部署による書類審査を実施し、より事業内容に対するフィルターをかけたいと思います。
3	資料3-1	<ul style="list-style-type: none"> ・①アイデア審査前に関連部署による書類審査実施 ⇒賛成。関連部署の協力が期待できない提案は、うまく進めることが難しいため ・②募集期間の短縮 ⇒反対。GW期間を含む5月のみでは、申請に至らないケースの頻出が懸念される。募集開始を早めるか、少なくとも、協働事業募集の予告を4月中頃に行うなど、提案を喚起する仕掛けに工夫が必要。 	
4	資料3-2 P11	応募時に事業実施者から提出される概算予算書の「提案者が負担する無償労働力」の時給については、市の方で応募時の記入要領に予め時給を記入しておいて時給を統一するようにはどうか。	無償労働力の人件費単価は、千葉県 lowest賃金1,140円以上の、1,200円で統一したいと思います（ただし最低賃金の改正があった場合は改正後の金額を使用）。

議題（3）令和8年度の企画提案型協働事業の実施方針について

No	頁数	質問・意見	回答
5	資料3-2	自由提案型の「市民参加で守る別所谷津公園の谷津の生態系」を指定テーマにされるかどうか。などを含めて、指定テーマになる経過を知りたい。	<p>都市整備課に確認したところ、指定テーマで継続予定とのことです。</p> <p>指定テーマ型に関しては、毎年3月末頃に市民活動推進課から各課に募集の照会をかけています。</p> <p>採択された際に団体と協働し事業を実施するのは担当課になりますので、市民活動推進課としては、募集記入様式ができれば、特段却下することはないです。</p>